

「地球観測の推進戦略」策定以降の我が国の取組状況に基づく地球観測等事業の進捗状況のレビューについて

●「地球観測の推進戦略」策定以降におけるレビューの主旨

総合科学技術会議（当時）は、「地球観測の推進戦略」（平成 16 年 12 月 27 日付け関係大臣に対する意見具申）をとりまとめ、平成 24 年度まで毎年フォローアップを実施してきた（図 1 参照）。決定から 10 年が経つ「地球観測の推進戦略」について、総合科学技術会議（当時）は、平成 24 年 12 月に見直しの検討に向けた実施状況のレビューを行うこととした。具体的には、総合科学技術・イノベーション会議（CSTI）の環境ワーキンググループが主体となりレビューを実施し、このレビューを踏まえて文部科学省が新たな 10 年の実施方針を策定することとなっている。

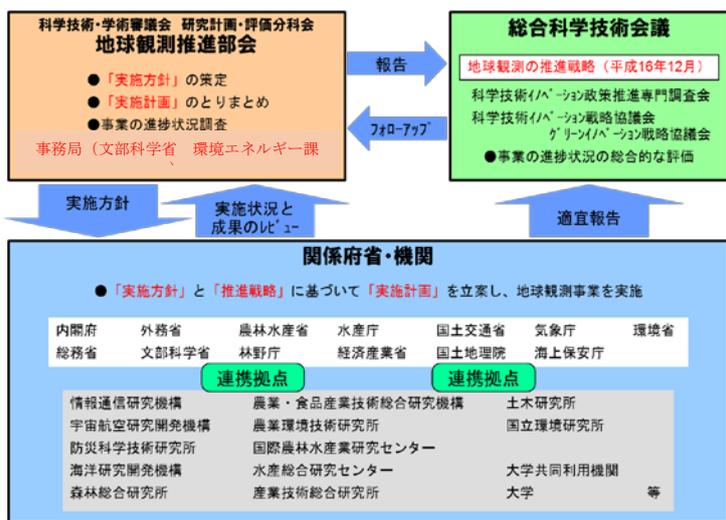


図 1. 地球観測等事業の推進体制・組織 (平成 24 年度の例)

●「地球観測の推進戦略」策定以降におけるレビューの内容

「地球観測の推進戦略」策定以降の取組状況、「地球観測の推進戦略」策定以降の近年の状況についてレビューし、この 10 年の成果ならびに新たな 10 年に向けた克服すべき課題をまとめ結論としている。

●今後の地球観測の実施方針・推進体制

「地球観測の推進戦略」に基づき文部科学省科学技術・学術審議会に設置されている地球観測推進部会は、今後 10 年程度を目途とした「我が国の地球観測の実施方針」を作成し、これを「実施方針」に代わるものと位置づける。「我が国の地球観測の実施方針」は、国内外の地球観測の動向や社会情勢の変化に対応して、中長期的な推進への取組を示すべきであるため、毎年一律に見直す方式を改め、それらの動向や変化の時期を見極めて概ね 3 年～5 年程度を目安に、地球観測推進部会が中心となって見直しを行う。一方、「地球観測の推進戦略」の下で毎年策定してきた「実施計画」については、上記の「我が国の地球観測の実施方針」にしたがって毎年策定する。CSTI は、必要に応じて実施方針とそれに基づく事業の進捗状況について、地球観測推進部会ならびに関係府省・機関からも報告を受けて総合的な評価を行い、地球観測の運用状況をフォローする。